

Enterprise Reporter for Office 365

Microsoft AzureとOffice 365にわたる検出とレポート作成

多くの方がエンタープライズアプリケーションとしてAzureとOffice 365を日常的に利用していますが、生産性を高められるかどうかはITチームに委ねられます。しかし、企業がOffice 365とAzureに保存する機密データがますます増えている今日、ITチームはセキュリティとコンプライアンスにも配慮しなければなりません。特に求められるのが、Azure Active Directory (AD)、Azureのリソース、Exchange Online、Microsoft Teams、OneDrive for Businessにわたって、誰が何にアクセスできるかの把握です。そして、Office 365のワークロードとAzureのサブスクリプションおよびライセンスを効率的に管理し、ユーザがリソースを浪費することなく必要なアプリケーションへ確実にアクセスできるようにする必要があります。

Quest® Enterprise Reporter for Office 365は、ユーザ、グループ、権限、構成、脆弱性、ライセンスなどを可視化することにより、Azureのリソース、Azure AD、

Exchange Online、Microsoft Teams、およびOneDrive for Businessの各環境のセキュリティ確保を支援します。カスタマイズできる詳細なレポートによりOffice 365全体のワークロードについて理解を深められるため、組織は機密データを保護し、内部および外部監査に向けた準備を容易に整えることができます。また、テナント、サブスクリプション、およびサービスプランのライセンシングを可視化することで、Office 365のライセンス割り当てとサービスプランに関する意思決定の最適化が容易になります。Enterprise Reporter for Office 365では、リソースがさらに可視化され、Azureで提供されている仮想マシン (VM) およびディスクなどの数量、サイズ、構成に関する情報も得られるので、環境を最適化し続けながらライセンスのコストを節約できます。さらに、自動化されたレポートにより関係者が必要な情報を必要ときに得られるようにすると同時に、ITワークロードを低減できます。

メリット:

- Azure、Azure AD、Exchange Online、Microsoft Teams、OneDrive for Businessの重要なIT資産の構成を可視化して、セキュリティとコンプライアンスを強化
- Azure ADのユーザ、グループ、ロール、アプリケーション、Microsoft Teamsのチャンネルとグループ、OneDrive for Businessの共有ファイルと共有フォルダ、Exchangeのメールボックスとパブリックフォルダ、Azureのリソース (仮想マシンやディスク、ネットワーク・セキュリティ・グループ、ストレージアカウントなど) に、誰がアクセスできるのかを完全に把握
- Microsoft Teamsでどのようなチームが作成され、どのように使用されているのかを可視化することで、Office 365環境におけるグループの無秩序化を回避
- テナント、サブスクリプション、およびサービスプランのライセンシングを可視化することで、Office 365のライセンスの割り当てとサービスプランに関する意思決定を容易に最適化。ならびに仮想マシンとディスクの使用率を可視化することで、Azureのリソースを容易に最適化
- Azure ADのユーザとグループの依存関係、マッチングでの競合、無効にされたアカウントを移行処理前に正確に特定して、ドメインの移行や統合のプロジェクトをスムーズに実施
- 規模や場所を問わず、Azure ADおよびOffice 365の環境を拡張

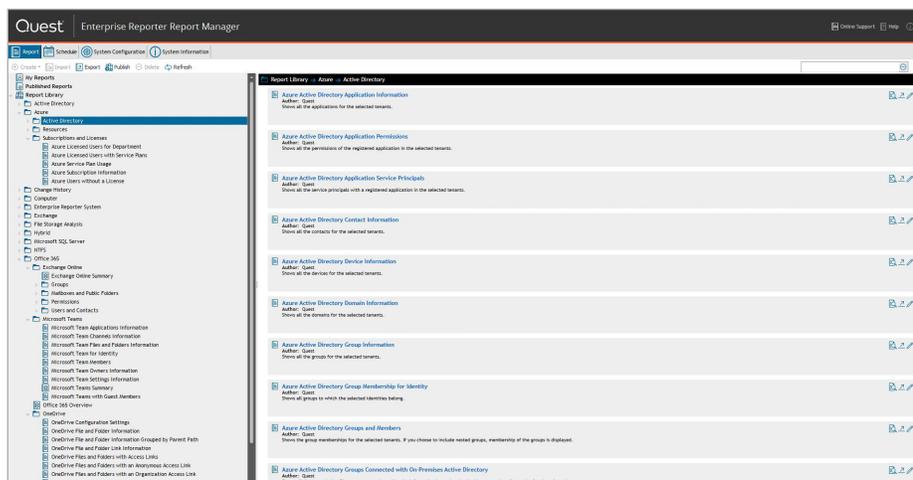


図1: Enterprise Reporter for Office 365はユーザ、グループ、権限、構成、脆弱性、ライセンシングなどを可視化します。

システム要件

システム要件の詳細については、リリースノートを参照してください。

項目ごとのビルトインレポートの例

Azure Active Directory:

Azureテナント情報
アプリケーションのサービスプリンシパル
ID、メンバーシップ、ロール
Azureのユーザ、ロール、グループ、メンバー

OneDrive for Business:

構成設定
ドライブ権限
ファイルおよびフォルダのアクセス許可
アクセスリンク情報

Exchange Online:

配布グループのメンバーと詳細
メールボックスの概要、委任、詳細
メールボックスとパブリックフォルダの権限

Azure:

Azureリソース情報
リソースアクセス、グループ、サブスクリプション情報
仮想マシンおよびディスクの情報

サブスクリプションとライセンス:

サービスプランの使用方法
サブスクリプション情報
ライセンスを付与されたユーザ

ハイブリッド:

Exchangeハイブリッドの移行されたメールボックスとアクセス許可
OneDriveとNTFSのファイルとフォルダのアクセス許可
[すべてのレポートのリストを表示](#)

特長

セキュリティとコンプライアンス状況の可視化

Azure AD、Exchange Online、Microsoft Teams、OneDrive for Business、およびAzureにある重要なIT資産の構成を可視化するとともに、柔軟性に優れるセキュリティレポートを作成できます。包括的な各種のレポートによって、クラウドサービスのセキュリティと、社内ポリシーや外部の規制へのコンプライアンスを確保するために必要な情報が提供されます。

権限の詳細情報

次の権限レポートを作成することにより、Microsoft Azure、Azure AD、Microsoft Teams、およびOffice 365環境（Exchange Online、OneDrive for Businessなど）のどのリソースに誰がアクセスできるかを完全に把握できます。

- Azure ADのユーザ、グループ、ロール、アプリケーション、およびデバイス
- OneDrive for Business全体の共有ファイルおよびフォルダ
- Exchange Onlineのメールボックスとパブリックフォルダ
- Azureリソース（VM、ディスク、ネットワーク・セキュリティ・グループ、ストレージアカウント、その他）

Microsoft Teamsの評価

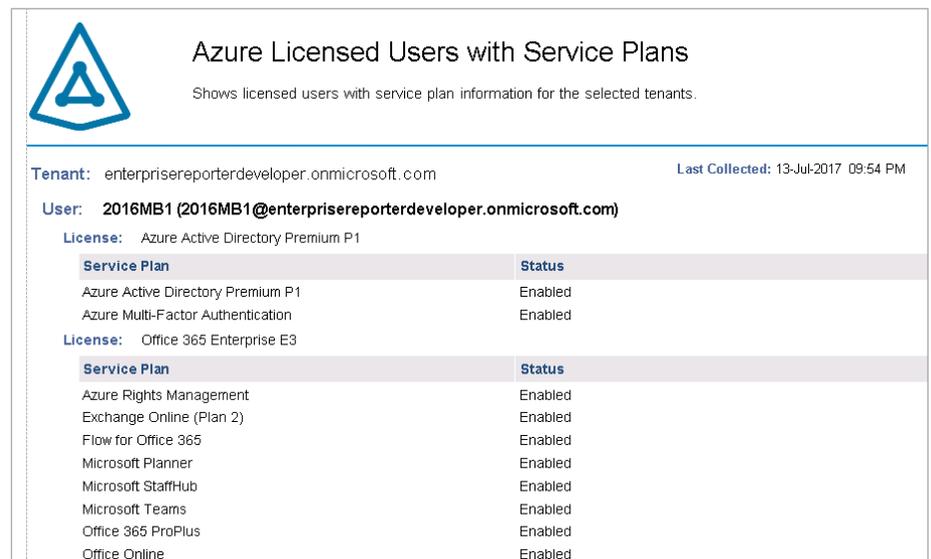
お使いのOffice 365環境にどのようなMicrosoft Teamsが存在し、どのように使用されているか、およびそのメンバーについて、迅速な検出とレポート作成が可能です。Enterprise Reporter for Office 365によって、Microsoft Teamsの展開を、無秩序なグループの拡大やモニタ使用を回避しつつ簡単に把握できるようになります。

テナント、サブスクリプション、およびライセンスの可視化

テナント、サブスクリプション、サービスプランのライセンス、およびAzureにホストされるリソース（仮想マシンやストレージアカウント、ディスクなど）を可視化することで、Office 365のライセンスの割り当てとサービスプランに関する意思決定を容易に最適化します。

移行前の評価

Azure ADにおけるユーザおよびグループの依存関係、マッチングオブジェクト、潜在的な競合、無効にされたアカウントなどを移行処理の開始前に特定することにより、ドメインの移行や統合のプロジェクトをスムーズに実施できるようにします。



Azure Licensed Users with Service Plans
Shows licensed users with service plan information for the selected tenants.

Tenant: enterprisereporterdeveloper.onmicrosoft.com Last Collected: 13-Jul-2017 09:54 PM

User: 2016MB1 (2016MB1@enterprisereporterdeveloper.onmicrosoft.com)

License: Azure Active Directory Premium P1

Service Plan	Status
Azure Active Directory Premium P1	Enabled
Azure Multi-Factor Authentication	Enabled

License: Office 365 Enterprise E3

Service Plan	Status
Azure Rights Management	Enabled
Exchange Online (Plan 2)	Enabled
Flow for Office 365	Enabled
Microsoft Planner	Enabled
Microsoft StaffHub	Enabled
Microsoft Teams	Enabled
Office 365 ProPlus	Enabled
Office Online	Enabled

図2: Enterprise Reporter for Office 365では、テナント、サブスクリプション、ライセンスのサービスプランを可視化することで、Office 365のライセンスの割り当ておよびサービスプランに関する意思決定を最適化できます。

Enterprise Reporter for Office 365は、Azure AD、Exchange Online、Microsoft Teams、およびOneDrive for Businessの各環境のセキュリティ確保に役立ちます。

拡張性に優れたデータ収集

規模や場所を問わず、Azure ADおよびOffice 365の環境を拡張します。収集のスケジュールをオフピーク時に設定し、ネットワークおよびサーバのパフォーマンスに及ぼす影響を最小限に抑えます。さらに、分散型の収集アーキテクチャを利用することで、負荷を分散します。

カスタマイズ可能なレポート

効率的で効果的なデータ分析を実行し、また、事前に定義されたレポートの使用や、属性を追加した新規レポートの作成を通じて、組織固有の情報ニーズを満たします。高度なフィルタリング機能を使用して、レポートをカスタマイズできます。フォーマットも、PDF、HTML、MHT、RTF、XLS、XLSX、CSV、テキスト、画像などが選べます。

レポート作成ワークフローの自動化

レポート作成の自動化とEメールで送信できる柔軟な配信スケジュールによって、関係者は必要なときに必要なレポートを確実に得られるようになります。

職務の分離 (SoD)

監査担当者、ヘルプデスクのスタッフ、IT管理者などの関係者が必要とするレポートを過不足なく正確に取得できるようにすることで、部門や業務の職務範囲を順守できます。

共通のレポート作成ポータル

当社のソフトウェアKnowledgePortalにレポートをエクスポートして、Questのセキュリティおよびコンプライアンスに関するソリューションファミリー共通のレポート作成用インターフェイスを使用できます。

QUESTについて

Questは、急速に変化するエンタープライズITの世界にソフトウェアソリューションを提供しています。データの爆発、クラウドサービスへの拡張、ハイブリッドデータセンター、セキュリティ脅威、規制上の要件によって生じる課題のシンプル化を支援します。Questのポートフォリオは、データベース管理、データ保護、統合エンドポイントの管理、IDおよびアクセス管理、Microsoftプラットフォーム管理などのソリューションで構成されます。